

# 第6次小牧市高齢者保健福祉計画進捗状況調査報告

**【進捗評価】**  
 第6次小牧市高齢者保健福祉計画の策定を開始した平成27年度の進捗状況について

目標に対して  
 A:計画より進んでいる(90%以上)  
 B:概ね計画に沿って進んでいる(70%以上)  
 C:遅れている(50%以上)  
 D:かなり遅れている(50%以下)

## 基本目標 I いきいきとした潤いのある暮らしづくり


1 健康づくりと介護予防の充実 (第6次計画 P67~71)

(1)健康診査・検診の推進

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
保健センター	がんや生活習慣病、歯周病の予防や重症化を防ぐために、各種健診・検診を実施する。	(乳がん検診の状況) ・マンモグラフィ18回/年実施 受診者数 1,569人  (子宮がん検診(集団・個別)の状況) ・受診者数 1,322人	(乳がん検診の状況) ・マンモグラフィ18回/年実施 受診者数 2,065人  (子宮がん検診(集団・個別)の状況) ・受診者数 1,728人	➡	・乳がん検診では、予定の検診回数(18回/年)の定員を超える希望者があり、全ての受診希望者に受けていただけるように検診車を1台から2台へ変更して受診希望者増に対応した。  ・がん撲滅モデル地区の方の要望の乳がん検診を健康展とタイアップして実施した。	C	・乳がん健診などの受診率が県内でも本市は低いため、受診率の向上を目指し、受診しやすい環境を整備する。  ・小牧市独自で、人間ドックの実施期間の終期を12月28日から2月14日とし、受診期間を拡大した。	・胃がん検診の胃X線検査に加え胃カメラ検査を導入し、検査の選択の幅を広げた。  ・乳がん検診(マンモグラフィ)個別検診化の検討を進める。
保険年金課		(特定健康診査及び健康診査の状況) ・受診者数 11,572人 (国・県への実績報告値)	(特定健康診査及び健康診査の状況) ・受診者数 11,763人 (国・県への実績報告値)	➡	・平成26年度と同様に、国民健康保険加入者(40-74歳)に対して特定健康診査を実施した。(6/1-12/28)  ・平成26年度と同様に、後期高齢者医療保険加入者に対して健康診査を実施した。(6/1-12/28)	B	・特定健康診査及び健康診査受診者数を対象者26,920人に対して目標受診率56%の15,075人とする。  ・平成27年度と同様に、後期高齢者医療保険加入者に対して健康診査を実施する。(6/1-2/14)	・平成28年度も平成27年度と同様に、国民健康保険加入者(40-74歳)に対して特定健康診査を実施する。(6/1-2/14)  ・平成27年度と同様に、後期高齢者医療保険加入者に対して健康診査を実施する。(6/1-2/14)  ・国保/後期とも受診期間を延ばし受診しやすい環境を作る。
保健センター	受診率向上のため、自ら健康に関心を持ち、定期的に健診等を受けるよう周知啓発に努める。	(各種がん検診受診者数の状況) ・胃がん検診受診率 20.8% ・大腸がん検診受診率 31.0% ・肺がん検診受診率 34.0% ・乳がん検診(マンモグラフィ)受診率 6.9% ・子宮がん検診受診率 4.4%  ※子宮がん検診は20歳以上の受診率。その他は40歳以上の受診率	(各種がん検診受診者数の状況) ・胃がん検診受診率 22.9% ・大腸がん検診受診率 34.8% ・肺がん検診受診率 35.9% ・乳がん検診(マンモグラフィ)受診率 9.1% ・子宮がん検診受診率 5.7%  ※子宮がん検診は20歳以上の受診率。その他は40歳以上の受診率	➡	・平成27年10月から開始した健康マイレージ制度で各種がん検診をポイント対象事業とし検診をPRした。	B	・がん検診受診率の向上を目指し、検診の案内方法等を検討する。  ・広報、ホームページのPRに加え、乳児健診時にチラシを配布するなどのPRをしている。	
保険年金課		(特定健康診査及び健康診査の状況) ・勧奨ハガキ発送 18,731通 (内、受診した人の数 4,804人) ・勧奨者の受診率 25.65% ※勧奨ハガキ送付者のうち、発送日の翌日以降の受診者 ・勧奨ハガキ発送前受診者 6,262人 (勧奨ハガキ発送日 平成26年10月20日)	(特定健康診査及び健康診査の状況) ・勧奨ハガキ発送 22,252通 (内、受診した人の数 6,648人) ・勧奨者の受診率 29.88% ※勧奨ハガキ送付者のうち、発送日の翌日以降の受診者 ・勧奨ハガキ発送前受診者 4,872人 (勧奨ハガキ発送日 平成27年9月25日)	➡	・平成26年度と同様に、特定健康診査の受診率向上のため、「受診勧奨ハガキの送付(国保連作成及び保険年金課作成の2回)」、「受診勧奨電話(9/1-10/31)」、「巡回バスへのチラシ掲示」、「市役所の掲示板等へ啓発ポスター掲示」を実施した。  ・平成27年度は、新たに「フェイスブック、ツイッターへの掲載」、「関係医療機関へ啓発ポスター掲示の依頼」、「市民センター等へ啓発ポスター掲示」を実施した。	B	・特定健康診査受診者数を15,075人にするため各種受診勧奨を行った。 平成27年度実績 11,763人 平成28年度目標 15,075人 (平成27年度目標14,050人)  ・平成27年度と同様に、特定健康診査の受診率向上のため、「受診勧奨ハガキの送付(国保連作成及び保険年金課作成の2回)」、「受診勧奨電話(7/1-8/31)」、「巡回バスへのチラシ掲示」、「市役所の掲示板等へ啓発ポスター掲示」、「フェイスブック、ツイッターへの掲載」、「関係医療機関へ啓発ポスター掲示の依頼」、「市民センター等へ啓発ポスター掲示」を実施した。  ・平成28年度は、新たに特定健康診査の受診券に前回の受診結果を掲載し、毎年の継続受診を促した。	

## 第6次小牧市高齢者保健福祉計画進捗状況調査報告

(2)健康に関して学ぶ場や相談の場の充実

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の実施内容(予定)
保健センター	身近な場所において健康に関して学ぶ場や気軽に相談できる場を充実するとともに、主体的に健康づくりや介護予防に取り組める仕組みづくりに着手する。	(医師健康相談の状況) ・保健センター 93回 177人 ・第1老人福祉センター 24回 91人 ・第2老人福祉センター 24回 133人  (保健師健康相談の状況) ・保健センター 44回 375人 ・味噌市民センター 12回 68人 ・東部市民センター 12回 79人  (生活習慣病予防相談の状況) (保健師・栄養士による) ・保健センター 39回 88人	(医師健康相談の状況) ・保健センター 90回 154人 ・第1老人福祉センター 24回 70人 ・第2老人福祉センター 24回 92人  (保健師健康相談の状況) ・保健センター 45回 345人 ・味噌市民センター 12回 44人 ・東部市民センター 12回 59人  (生活習慣病予防相談の状況) (保健師・栄養士による) ・保健センター 40回 83人  (こまき健康マイレージの状況) ・まいか交換者 76人		・平成27年度と同様に、保健センター、老人福祉センター、東部・味噌市民センターにおいて各種健康相談事業を実施した。医師、保健師、管理栄養士、歯科衛生士が個々の相談に対応した。  ・新規事業として、健康づくりに取り組むことが苦手な市民に対して、健康づくりの実践につなげるきっかけづくりとして県と協働し「こまき健康マイレージ」を実施した。	B	・相談が必要な方に気軽に相談できる場を提供する。  ・「こまき健康マイレージ」事業に参加する市民の増加を目指し、興味を持てる事業となるよう検討する。	・健康相談について、有効なPR方法を検討する。  ・仕組みづくりとしては、「こまき健康マイレージ」事業に、インセンティブとしてこまきプレミアム商品券(1,000円分)と交換できる仕組みを追加するとともに、身近で気軽に取組むことができるウォーキングをメニューに追加した「こまき健康いきいきポイント」事業を実施する。  ・生活習慣病の改善や健康寿命の延伸を目的とし、継続的にウォーキング取り組んでもらえるように、歩数計機能などのある小牧市独自のスマートフォンアプリ「alko(アルコ)」を開発し、配信する。
保健センター	口腔機能の重要性や低栄養予防について積極的に情報発信するとともに、介護スタッフや支援者、高齢者を介護する方へも普及啓発をする。	(教室・研修の状況) ・おうち元気はつらつ教室 13回 363人 ・いきいき元気塾 12回 361人	(教室・研修の状況) ・おうち元気はつらつ教室 15回 400人 ・いきいき元気塾 12回 433人 ・介護スタッフ対象研修会 1回 46人		・平成27年度と同様に、市内の一般団体や老人クラブ等、講座受講を希望する市内の各団体に対し、口腔機能の重要性や低栄養予防に関する普及啓発を実施した。  ・高齢者を取り巻く環境整備の一環として介護スタッフを対象とした研修を行い、意識の向上を図った。	B	・教室や研修を開催しての情報発信のみでなく、関係機関(介護スタッフなど)から情報発信できるような仕組みを考える。	・関係機関に、日々の取り組みの中で広く市民に情報発信していただくよう働きかけて連携していく。  ・県主催による介護スタッフ対象研修会との内容調整を行い、効果的な研修になるよう平成28年度の介護スタッフ対象研修会を開催する。
保健センター	保健連絡員などが主体的に計画する健康教室を増やす。	(健康展・健康教室の状況) ・地域の健康展 12箇所 参加者数 2,095人 ・保健連絡員による健康教室 開催回数 183回 参加者数 5,959人	(健康展・健康教室の状況) ・地域の健康展 26箇所 参加者数 2,409人 ・保健連絡員による健康教室 開催回数 220回 参加者数 5,529人		・保健連絡員各グループによる市民センターを中心とした健康展の実施だけでなく、地区単位での健康展を開催した。地区単位での健康展は、市民センター等には遠くて行けない方に喜ばれている。  ・地域での健康教室だけでなく、子育てサロンと、高齢者のサロンを同時に開催するなど、地域の課題に即した内容で教室を開催した地区も見られる。  ・健康に関する意識の向上を図る必要がある。	B	・地区での健康展や健康教室など、身近に行ける場での開催数を増やす。	・より気軽に参加できるように、地域での健康展を36箇所で開催する。

# 第6次小牧市高齢者保健福祉計画進捗状況調査報告

## (3) 介護予防事業の充実及び推進

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
地域福祉課 保健センター	介護予防事業が必要な方の把握に努め、その人その人に応じた介護予防事業につなげられるような体制の整備を図る。	(基本チェックリストの送付状況) ※対象者は65歳以上の高齢者 ・配布数 28,672人 ・回収数 19,971人 ・回収率 69.7%  (二次予防教室の状況) ・集団による複合教室(運動器・口腔・栄養教室) 開催回数 8教室(1クール12回) 参加者数 109人 ・個人による運動器 参加者数 20人	(基本チェックリストの送付状況) ※対象者は70歳～84歳の高齢者 ・配布数 17,785人 ・回収数 12,865人 ・回収率 72.3%  (二次予防教室の状況) ・集団による複合教室(運動器・口腔・栄養教室) 開催回数 8教室(1クール12回) 参加者数 124人 ・個人による運動器 参加者数 21人 ・訪問による運動器 参加者数 1人	→	・平成27年度から基本チェックリスト発送対象者の年齢要件を変更したため配布数に差が出ているが、他の発送要件としては変更なく、介護認定を受けていない70歳から84歳の高齢者に対し、生活機能の低下の有無を判断するための基本チェックリストを実施し、二次予防事業対象者を把握した。  ・集団もしくは個別の二次予防教室を開催し、教室への送迎も実施することで、その人その人に応じた介護予防事業を実施した。  ・二次予防事業対象者を二次予防教室への参加につなげることが難しい。	B	・二次予防事業対象者に対し、集団もしくは個別の二次予防教室へ参加してもらい介護予防を行う。  ・平成28年度は参加しやすい体制を作り、参加者の増加に繋げる。	・介護認定を受けていない70歳から84歳の高齢者に対し、生活機能の低下の有無を判断するための基本チェックリストを実施し、二次予防事業対象者を把握する。  ・集団(9会場)もしくは個別の二次予防教室を開催し、教室への送迎も実施することで、個人毎に応じた介護予防事業を実施する。
地域福祉課 福祉総務課 保健センター	健康づくりや介護予防の取り組みを支援するトレーナー役の人材として、元気な高齢者を養成するなどの体制を構築する。	(愛知県介護予防リーダー養成研修参加状況) ・研修修了者:2人	(愛知県介護予防リーダー養成研修参加状況) ・研修修了者:5人	→	・地域包括支援センターが中心となって、介護予防活動の担い手となる介護予防リーダーの養成に取り組んだ。  ・地域でボランティアによる介護予防活動を増やすため、その人材育成が必要である。	C	・愛知県介護予防リーダー養成研修修了者を増やす。	・小牧地域包括支援センターふれあいが、愛知県介護予防リーダー研修受講者を募集し、研修修了者を増やす。
地域福祉課 福祉総務課 保健センター	閉じこもりがちになる高齢者の方でも参加しやすいよう、歩いて行ける範囲での拠点づくりを進める。	(閉じこもり予防の会開催状況) ・開催数 4箇所 ・ボランティア数 66人 ・参加者数 61人  (ふれあい・いきいきサロンの状況) ・サロン 29箇所 ・述べ参加者数 9,415人	(閉じこもり予防の会開催状況) ・開催数 4箇所 ・ボランティア数 65人 ・参加者数 64人  (ふれあい・いきいきサロンの状況) ・サロン数 35箇所 ・述べ参加者数 13,696人	→	・味噌地区、桃花台地区、西部地区、南部地区で保健連絡員0Bを中心としたボランティアで組織された閉じこもり予防の会を実施した。  ・課題は住民主体で運営していくことが難しい点である。  ・社会福祉協議会との協働により、地域における居場所「ふれあい・いきいきサロン」を新たに6箇所開設し、創作活動や趣味などを実施する場となっている。(市内合計35箇所)	B	・今後住民主体で運営していくことができるよう、現在のボランティアの意識の高揚を図る。  ・ふれあい・いきいきサロン等の高齢者の居場所を55箇所にする。	・保健連絡員活動や、地域の中で”閉じこもり予防の拠点作りが必要”というニーズをキャッチし、他課、他組織と連携していく。  ・前年度に引き続き、社会福祉協議会との協働により、地域における居場所づくりに努める。  ・介護保険課が提案した協働提案制度で協働する市民活動団体「結いのまちづくり応援隊」とも連携し、立ち上げ支援を強化する。

# 第6次小牧市高齢者保健福祉計画進捗状況調査報告

2 生きがいづくりと社会参加 (第6次計画 P72~76)

(1)生涯学習・趣味・スポーツ活動の促進

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
福祉総務課		(ふれあい・いきいきサロンの状況) ・サロン数 29箇所 ・述べ参加者数 9,415人	(ふれあい・いきいきサロンの状況) ・サロン数 35箇所 ・述べ参加者数 13,696人	➡	・社会福祉協議会との協働により、地域における居場所「ふれあい・いきいきサロン」を新たに6箇所開設し、創作活動や趣味などを実施する場となっている。(市内合計35箇所)	B	・ふれあい・いきいきサロン等の高齢者の居場所を55箇所にする。	・前年度に引き続き、社会福祉協議会との協働により、地域における居場所づくりに努める。  ・介護保険課が提案した協働提案制度で協働する市民活動団体「結いのまちづくり応援隊」とも連携し、立ち上げ支援を強化する。
地域福祉課		(寿学園の状況) ・回数 151回 ・生徒数 2,396人 ・開催回数 11回 ・課外学習 1回	(寿学園の状況) ・回数 151回 ・生徒数 2,320人 ・開催回数 11回 ・課外学習 1回	➡	・毎月1回(9月を除く)寿学園と課外学習(1回)を開催し、教養の向上と心身の健康の保持を図った。  ・会員数が減少していることが課題である。	B	・毎月1回(9月を除く)寿学園を魅力ある内容の講座とし、会員増となるよう啓発を行う。	・毎月1回(9月を除く)寿学園と課外学習(1回)を開催し、会員増となるよう広報による啓発を行う。
生涯学習課	目的や目標のある生活は健康づくりの基本であることから、自らの得意分野を活かし、何かに取り組む高齢者が増えるよう、生涯を通じて幅広い分野に渡った場の確保、支援、育成を図る。 (例:寿学園、ゆうゆう学級、地域3あい事業、シルバースポーツ大学など)	(ゆうゆう学級の状況) ・学級数 5学級 ・参加者数 219人  (市民講座各種の状況) ・講座数 23講座 ・参加者数 545人  (地域3あい事業の状況) ・実施地区 70地区 ・行事回数 763回 ・参加人数 81,881人	(ゆうゆう学級の状況) ・学級数 5学級 ・参加者数 200人  (市民講座各種の状況) ・講座数 25講座 ・参加者数 605人  (地域3あい事業の状況) ・実施地区 69地区 ・行事回数 818回 ・参加人数 85,336人	➡	(小牧市ゆうゆう学級) ・市内在住の60歳以上の方に、市内4か所の公民館において学級形式での仲間づくりを通じた学びあいを実施し、充実した学びの場の提供を行った。  (市民講座各種) ・前期に13講座、後期に12講座を開催し、知識・教養を高め、技能の習得や趣味を広げるとともに市民相互のつながりを深めた。  (地域3あい事業) ・地域の人々の”学びあい”や”ふれあい”の活動を通してお年寄りを支えるなどの”支えあい”の地域づくりを合同実施地区を含め69地区で実施した。	B	・引き続き生涯を通じて学び続ける機会の提供に努める。	(小牧市ゆうゆう学級) ・市内在住の60歳以上の方に、市内4か所の公民館において学級形式での仲間づくりを通じた学びあいを実施し、充実した学びの場の提供を行う。  (市民講座各種) ・市民企画講座を開催し、知識・教養を高め、技能の習得や趣味を広げるとともに市民相互のつながりを深める場を提供する。  (地域3あい事業) ・地域の人々の”学びあい”や”ふれあい”の活動を通してお年寄りを支えるなど、”支えあい”の地域づくりを補助する。
スポーツ推進課		(シルバースポーツ大学開催状況) 日時 平成26年 5月16日 6月6日・20日 7月4日・11日 8月8日 9月6日・20日 10月3日・17日 11月7日・21日 12月5日・19日 平成27年 1月9日・16日 2月13日・20日 3月6日  ・場所 パークアリーナ小牧、南スポーツセンター ・回数 19回 ・参加者数 40人	(シルバースポーツ大学開催状況) 日時 平成27年 5月21日 6月4日・18日 7月9日・16日 8月6日 9月10日・17日 10月8日・15日 11月5日・12日 12月3日・17日 平成28年 1月7日・27日 2月10日・18日 3月3日  ・場所 パークアリーナ小牧 ・回数 19回 ・参加者数 40人	➡	(シルバースポーツ大学) ・市内在住の60歳以上の方を対象に、年間19回に分けて、レクリエーション、軽スポーツ、健康に関する講義などを行った。	B	・高齢者スポーツの一層の普及と高齢者スポーツの愛好家に、知識の取得とより多くのスポーツに親しむ機会を提供することで、体力維持と健康増進を図る。	・市内在住の60歳以上の方にレクリエーション、軽スポーツ、健康に関する講座を実施する。
農政課	農作業への関心が高まっている一方、耕作放棄地が増加していることから、この両者の持つニーズを調整できる仕組みを検討する。	-	・事業数 0  (遊休農地活用事業の状況) ・池之内市民菜園利用区画数 42区画	➡	・耕作放棄地解消のため、農地中間管理事業の内容の説明を広報、JA支部長会議等で行った。 ・問い合わせも数件あったが、条件不一致でマッチングまでは至っていない。  ・耕作放棄地を活用した池之内市民菜園については、利用者も増加してきており今後も継続していく必要がある。	C	・農地中間管理事業の内容を広く周知するとともにマッチングを実現する。  ・46区画全ての区画が継続的に利用されるように利用者への周知等に努める。	・引き続き、広報やJA支部長会議等において、農地中間管理事業をわかりやすく説明するとともに、HP等により広く周知を図る。  ・利用要望や規模拡大要望に対して、周辺の未利用農地の紹介・仲介などの対応を検討していく。

## 第6次小牧市高齢者保健福祉計画進捗状況調査報告

### (2) シルバー人材センター・老人クラブ活動への支援

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
地域福祉課	地域で高齢者を支えるためには、シルバー人材センターや老人クラブの存在はこれまで以上に重要となることから、基幹的な組織となるようその活動に対し積極的に支援を行う。	(シルバー人材センターの状況) ・会員数 524人  (老人クラブの状況) ・クラブ数 79クラブ ・会員数 5,581人	(シルバー人材センターの状況) ・会員数 516人  (老人クラブの状況) ・クラブ数 77クラブ ・会員数 5,314人	➡	・シルバー人材センターが行っている高齢者能力活用推進事業に対して補助金を前年度より増額交付し、就業機会の拡大を通じて高齢者の生きがいと社会参加の増進を図った。 ・会員数が減少しており、会員を増やすための対策が必要である。  ・老人クラブ連合会及び単位老人クラブの活動に対し、補助金を交付し、支援を行った。なお、50人以上の単位老人クラブについては、補助金を前年度より増額した。 ・クラブ数、会員数がともに減少している。	B	・引き続き補助金を交付し、運営を支援する。	・シルバー人材センターに対し、補助金を交付するとともに新しいサービス業務内容を提案する。
地域福祉課	就労意欲の高い高齢者を支援するため、シルバー人材センターの業務拡大を支援する。	・緊急雇用創出事業基金事業地域人づくり事業(雇用拡大プロセス)を活用し、高齢者地域就業支援業務を委託により指導員1人を配置し、新規に24人の就業となった。	・補助金を交付し27事業所の新規開拓を行った。	➡	・新たにシルバー人材センターが事業展開している高齢者活用・現役世代サポート事業に対して補助金を交付し、支援を行った。  ・新規事業所が増えているが、会員数が減少しており、より会員のニーズにあった業務の開拓が必要である。	B	・引き続き補助金を交付し、新規事業所の開拓を支援する。	・シルバー人材センターに対し、補助金を交付するとともに新しいサービス業務内容を提案する。

### (3) 地域活動・就労・ボランティア活動への促進

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
福祉総務課 介護保険課	新しい総合事業では、多様な主体による多様なサービスの提供が想定されることから、地域で活動するNPOやボランティアなどの力が必要となるため、こうした活動の担い手としての元気な高齢者が積極的に参加しやすい環境を整備する。	(地域座談会の開催状況) ・20区、計19回開催	(地域座談会の開催状況) ・14区、計20回開催	➡	・地域協議会の未設置小学校区において区長、民生委員、地域福祉の活動者により地域座談会を開催し、小地域における支え合い、助け合いの必要性について共有を図った。	C	・これまで未開催の小学校区でも地域座談会を25回開催する。	・全16小学校区において地域座談会を開催し、ネットワークの必要性について高揚を図るとともに、小地域における福祉活動を展開するため、地域座談会を継続的に実施する。
福祉総務課	既存のボランティア団体の活動への支援や、情報提供に努め、高齢者が地域で活動しやすい環境を整え、ボランティアの活動の促進、多様化、重層化を目指す。	(地域座談会の開催状況) ・20区、計19回開催	(地域座談会の開催状況) ・14区、計20回開催	➡	・地域協議会の未設置小学校区において区長、民生委員、地域福祉の活動者により地域座談会を開催し、小地域における支え合い、助け合いの必要性について共有化を図るとともに、社会福祉協議会の地域福祉活動専門員と連携し、サロン活動などの具体的な活動につなげた。	D	・これまで未開催の小学校区でも地域座談会を25回開催する。	・全16小学校区において地域座談会を開催し、ネットワークの必要性について高揚を図るとともに、小地域における福祉活動を展開するため、地域座談会を継続的に実施する。
福祉総務課 介護保険課	ボランティア活動の促進について、新たな形態での活動(ワーカーなど)として対価などを想定した活動や新たな補助制度について検討する。	・介護保険制度改正を見据え、必要な制度、サービスについて検討した。	・介護ボランティアポイント制度に先駆的導入市の視察を行った。  ※介護ボランティアポイント制度とは 介護施設等で支援ボランティアとして活動される方を対象に、ポイントを付与し、貯めたポイントを商品券等で還元する制度。	➡	・今後、想定されるニーズを踏まえ、住民参加型サービス(コミュニティサービス)のあり方について検討を行った。	D	・引き続き、検討する。	・平成29年度から新しい総合事業への移行を見据え、住民ニーズを踏まえた上で、住民にとって必要な制度とするため、そのあり方について関係各課とともに検討を続ける。

# 第6次小牧市高齢者保健福祉計画進捗状況調査報告

## 基本目標Ⅱ 自立を支え合う地域づくり

1 地域包括支援センター機能の強化 (第6次計画 P79～81)

(1) 地域包括支援センターの周知

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
地域福祉課	区長や民生委員をはじめとした地域、事業者などと連携し、ネットワークを活かして地域に入り込んだ活動の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センター職員が各圏域における民生委員の役員会等の会合に出席し関係の構築に努めた。また祭り等のイベント会場に赴き地域包括支援センターのPRを行った。</li> <li>小牧市地域福祉に関する市民調査における「地域包括支援センターの認知度」平成23年 知っている 10.6% 知らない 67.7%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センター職員が各圏域における民生委員の役員会等の会合に出席し関係の構築に努めた。また祭り等のイベント会場に赴き地域包括支援センターのPRを行った。</li> <li>小牧市地域福祉に関する市民調査における「地域包括支援センターの認知度」平成27年 知っている 20.0% 知らない 52.5%</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センター職員が民生委員の会合や、サロン、地域の集まり、市のイベント等へ積極的に参加し、様々な層に地域包括支援センターを周知した。また、地域ケア会議の開催や勉強会などを通して地域のネットワークの形成や、地域に根ざした活動の充実を図った。</li> <li>さらに地域包括支援センターの周知を図る必要がある。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターを周知し、地域のネットワークづくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、地域包括支援センター職員が地域活動に参加し、地域包括支援センターの周知を図るとともに、ネットワークづくりを進める。</li> </ul>

(2) 地域包括支援センター機能の充実

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
地域福祉課	役割に応じた人材配置を強化して相談しやすい環境を整えるとともに、多職種連携、協働によりこれまで以上に身近な存在として寄り添った支援ができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度に認知症地域支援推進員を配置することについて、地域包括支援センターと協議を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を1人ずつ配置した。</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、認知症施策を推進するための体制を強化した。</li> <li>各地域包括支援センターにおいて地域とのネットワークづくりに取り組み、相談や様々な情報が寄せられるように努めた。</li> <li>認知症地域支援推進員を地域包括支援センター業務と兼務で配置したので、専任として認知症に特化した活動を行う必要がある。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症地域支援推進員を専任として配置し、地域包括支援センターの機能強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症地域支援推進員を専任として配置し、相談業務やネットワークづくりを行う。</li> </ul>
地域福祉課	高齢者の介護予防、自立支援に向けた効果的なサービスのマネジメントが可能となるよう、地域の資源開発、人材育成、ネットワーク構築などへの支援に取り組むための体制の整備を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>(地域ケア会議の開催状況)</li> <li>研修回数 2回</li> <li>※地域ケア会議とは行政職員、地域包括支援センター職員、介護事業者、民生委員等が参加し、地域のネットワーク構築やケアマネジメント支援や地域課題の把握などを推進する会議。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(地域ケア会議の開催状況)</li> <li>研修回数 3回</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合相談において支援したケースを地域ケア会議で議論するなど、地域のネットワークの構築に努めた。</li> <li>ケアマネジャーに対し、個々の課題だけでなく地域への視点を持ってもらえるよう、地域ケア会議に関する研修を開催した。</li> <li>ケアマネジャーより地域ケア会議につながる案件が少なく、地域ケア会議についての理解と啓発が必要である。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合相談において支援したケースを地域ケア会議で議論するなど、地域のネットワークの構築に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアマネジャー等から議題となるケースをつのり、地域ケア会議等のネットワーク構築に向けた会議を開催する。</li> </ul>
地域福祉課 介護保険課	より身近な地域での支援を可能とするため、小牧南部圏域において、新たな地域包括支援センターの設置を目指す。	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>小牧南部圏域での地域包括支援センター開設に向けた法人との打合せを1回行った。</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>小牧南部圏域での地域包括支援センター開設に向け、法人と調整を行い、平成29年度より開設することとした。</li> <li>平成29年度より開設するため、地域包括支援センター職員の確保や、現在委託している小牧地域包括支援センターからの引継ぎを確実に図る必要がある。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度から支障なく小牧南部地域包括支援センターが開設、運営ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小牧南部圏域地域包括支援センターを設置するため、地域包括支援センター運営協議会で審議し、平成29年度から開設できるように、小牧地域包括支援センターからの引継ぎの開設準備委託を行う。</li> </ul>

## 第6次小牧市高齢者保健福祉計画進捗状況調査報告

### 2 支え合う地域づくり (第6次計画 P82～85)

#### (1) 地域包括ケアシステムの充実

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
地域福祉課	医療、福祉、介護など多職種、他制度の連携を強化し、地元住民とともにチームで高齢者を見守り、支え合う体制を充実させる。	(個別ケア会議開催状況) ・開催回数 11回	(個別ケア会議開催状況) ・開催回数 42回	➡	・個別ケア会議、圏域における地域ケア会議の開催を通し、医療、福祉、介護などの多職種や地域住民のネットワークの形成に努め、高齢者の見守り・支え合いに関する課題を共有した。  ・今後は見守り・支え合いの体制づくりを進めることが必要である。	B	・引き続き地域ケア会議を通し、医療、福祉、介護などの多職種や地域住民のネットワークの形成に努め、高齢者の見守り・支え合いに関する課題を共有する。  ・共有した課題を具体化できるように生活支援コーディネーターと連携し進める。	・個別ケア会議、圏域における地域ケア会議を開催する。
福祉総務課 地域福祉課	地域ケア会議を推進し、支え合いのこころの醸成、地域福祉活動の参加への働きかけを支援する。	—	—	—	・市域レベルの地域福祉コーディネーターが、地域ケア会議にオブザーバーとして参加し、各委員から寄せられた意見を踏まえ、小地域(区)における地域福祉活動の支援を行った。	B	地域福祉コーディネーターが地域ケア会議に参加し、地域福祉活動の展開につなげる。	・今年度から市域レベル及び圏域レベルの地域福祉コーディネーターが全圏域(圏域レベルは小牧包括以外のみ参加)の地域ケア会議に委員として参加することにより、地域課題の整理をするとともに、小地域における具体的な地域福祉活動の展開につなげる。
福祉総務課 地域福祉課 介護保険課	行政区などと連携、協議しながら地域福祉モデルの構築を進める。	・ふらっとみなみ(南部コミュニティセンター)運営協議会で座談会を開催した。  ・次年度以降、同運営協議会内にある福祉生活部会で具体的な活動を実施した。	・地域協議会の設立の動きがない、9つの小学校区において座談会を開催した。  ・ネットワークの必要性について意識の高揚を図った。	➡	・地域協議会の未設置小学校区において区長、民生委員、地域福祉の活動者により地域座談会を開催し、他地区の活動状況を発表するとともに、ネットワークの必要性について共有した。	D	・小学校区単位での地域座談会を全16小学校で実施する。  ・ネットワーク構築に向け、モデル的に地域座談会を継続する。	・ネットワークの必要性について、意識の高揚を図るため、全小学校において地域座談会を開催する。  ・複数学区については、その地区の課題等に応じたテーマを絞り込み、ネットワークの構築に向け地域座談会を実施する。

#### (2) 地域包括ケアシステムを支える人の人材の確保及び資質の向上

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
福祉総務課	地域福祉コーディネーターが、地域においてコーディネート役を担う人材を発掘、支援、育成し、地域で見守り、支え合いを担う人材の確保に努める。	・地域福祉コーディネーターの配置のあり方について、関係各課、関係機関と検討した。	・市域レベルに1人(福祉総務課担当)配置し、圏域における地域ケア会議にオブザーバーとして参加した。  ・平成28年度以降の圏域レベルの配置方針を決定した。	➡	・地域福祉推進担当が市域レベルの地域福祉コーディネーターとして地域ケア会議への出席、小地域における地域福祉活動の推進を行うとともに、圏域レベルの地域福祉コーディネーターの配置のあり方について検討を行った。	C	・各地域包括支援センターの圏域レベルに地域福祉コーディネーターを2人配置する。	・市域レベルと圏域レベルの地域福祉コーディネーターが連携し、小地域及び小学校区単位の地域福祉活動を推進する。 (ニーズの把握、必要なサービス等の開発、関係者間のネットワーク化、人材育成等)
福祉総務課	既存の事業所やボランティア団体に加え、高齢者自身が支える側として新たに参画できるよう、地域での“できること”“してほしいこと”を調整する。	・ふらっとみなみ(南部コミュニティセンター)運営協議会で座談会を開催した。  ・次年度以降、同運営協議会内にある福祉生活部会で具体的な活動を実施した。	・地域協議会の設立の動きがない、9つの小学校区において座談会を開催した。  ・ネットワークの必要性について意識の高揚を図った。	➡	・地域協議会の未設置小学校区において区長、民生委員、地域福祉の活動者により地域座談会を開催し、小地域における支え合い、助け合いの必要性について共有を図った。	B	・小学校区単位での地域座談会を全16小学校で実施する。  ・ネットワーク構築に向け、モデル的に地域座談会を継続する。	・ネットワークの必要性について、意識の高揚を図るため、全小学校において地域座談会を開催する。  ・複数学区については、その地区の課題等に応じたテーマを絞り込み、ネットワークの構築に向け地域座談会を実施する。

#### (3) 地域における情報提供や連携強化の場の設置

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
福祉総務課	災害発生に備え、関係機関と情報共有する体制を整備するとともに、災害時支援台帳の整備を進める。	(災害時避難行動要支援者台帳の状況) ・台帳登録者数 1,009人 ※手上げ方式であったため、登録率は不明	(災害時避難行動要支援者台帳の状況) ・台帳登録者数 2,327人(45.3%) ・年2回台帳を更新、配布	➡	・災害対策基本法の施行に伴い、災害時避難行動要支援者台帳を整備するとともに、第三者(区長、民生委員、自主防災組織、社会福祉協議会、警察等)に対して、情報提供の中で、台帳を活用した地域における見守りの充実化に向けた働きかけを行った。	B	・登録率の向上を目指し、台帳を活用した地域における見守り活動などの充実化を図るため、普及啓発を行う。	・台帳とともに「台帳活用マニュアル」「地域見守りネットワーク構築マニュアル」を配布するとともに、消防署、危機管理課、社会福祉協議会と連携し、地域において具体的な活動に向けた地域座談会を実施する中で、登録率の向上を目指す。

# 第6次小牧市高齢者保健福祉計画進捗状況調査報告

## (4)認知症施策の充実

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の実施内容(予定)
地域福祉課	認知症ケアパスを広く周知し、その普及、活用を図ることにより、安心して生活できる支援の充実を図る。	—	—	—	・早期に認知症ケアパスを作成する必要がある。	B	・地域包括支援センターに配置した認知症地域支援推進員と連携し、認知症ケアパスを作成する。	・認知症ケアパスを作成する。
地域福祉課	地域包括支援センターに認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チームを設置し、認知症ケアの充実を図る。	—	各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を1人(計4人)配置した。	→	・9月に認知症初期集中支援チーム検討委員会設置要綱を制定した。 ・認知症初期集中支援チームを設置するため、他市での設置方法を情報収集し、検討する必要がある。 ・11月に各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を地域包括支援センター業務と兼務で配置した。 ・平成28年度より専任で配置できるように人員確保が必要である。	B	・認知症地域支援推進員を各地域包括支援センターに専任で配置する。 ・認知症初期集中支援チームを設置するための検討委員会を開催し、平成29年度に設置できるよう検討を進める。	・認知症地域支援推進員を専任で配置し、認知症ケアパスの作成、出張相談等による相談支援の充実を図る。 ・認知症初期集中支援チーム検討委員会を開催し、設置方法を検討する。
地域福祉課	認知症サポーターの養成やフォーラムの開催などを実施し、支援の輪やネットワークの充実を図るとともに、近隣市町とも連携しネットワークの拡充に努める。	(認知症サポーター養成講座の開催状況) ・開催回数 43回 ・受講者数 2,326人  (認知症フォーラムの状況) ・講演「認知症になっても暮らしやすいまちを目指して」 ・参加者数 約120人  (認知症見守りネットワーク会員数) ・会員数 1,275人(累計)	(認知症サポーター養成講座の開催状況) ・開催回数 48回 ・受講者数 2,487人  (認知症フォーラムの状況) ・講演及び運動「頭と体を動かして認知症予防 コグニサイズを知ろう」 ・参加者数 約70人  (認知症見守りネットワーク会員数) ・会員数 1,331人(累計)	→	・認知症サポーター養成講座を実施するとともに、10月に認知症フォーラムを開催し、認知症に対する啓発を行った。 ・市内のイベントで認知症見守りネットワークについての啓発を行い、登録者数が増加した。 ・認知症サポーター養成講座が開催できていない小中学校があり、学校の理解が得られるように開催の依頼を行う必要がある。 ・認知症見守りネットワークの会員数が微増であるため、啓発方法の見直し等の検討が必要である。	B	・認知症サポーター養成講座が未開催である小中学校で開催する。 ・認知症サポーター養成講座の既受講者のステップアップとなる講座を開催し、地域づくりを行う人を育成する。	・未開催である小中学校においても認知症サポーター養成講座を開催する。 ・認知症サポーター養成講座の既受講者のステップアップ講座を開催する。 ・認知症見守りネットワークの会員を増やすための啓発活動を実施する。

## 3 生活支援の充実 (第6次計画 P86~89)

### (1)高齢者一人ひとりの特性に合わせた生活支援の推進

関係課	0.001	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の実施内容(予定)
地域福祉課	新しい総合事業の開始に合わせ、既存の福祉サービスについて、これからの公的支援にふさわしい内容となるよう検討をすすめる、他のサービスと連携する中できめ細やかな提供体制が図れるようにする。	(家事援助サービスの状況) ・利用者数 8人 ・利用回数 235回  (デイサービスの状況) ・利用者数 11人 ・利用回数 364回	(家事援助サービスの状況) ・利用者数 8人 ・利用回数 304回  (デイサービスの状況) ・利用者数 11人 ・利用回数 353回	→	・平成29年度から新しい総合事業を実施することに伴い、市の独自サービスである家事援助サービス事業(調理、洗濯、清掃等の家事に関する援助)及び高齢者デイサービス事業について、平成28年度までの実施とした。  ・利用者が現行サービスよりスムーズに新しい総合事業へ移行できるようにする必要がある。	B	・平成29年度から既存サービスである家事援助サービス及び高齢者デイサービスを新しい総合事業へ移行できるようにする。	・地域包括支援センターと連携し、家事援助サービス及び高齢者デイサービスの利用者が新しい総合事業へ移行できるようにする。
地域福祉課	自ら権利を守ることが困難な方の権利擁護支援のあり方を検討し、検討結果に基づいた事業の実施に努める。	・市民活動団体と協働し、権利擁護のあり方の検討委員会及び研修会を開催し、権利擁護の啓発と「小牧市権利擁護支援のあり方に関する報告書」をまとめた。  (検討委員会の状況) ・開催回数 5回  (権利擁護研修会の状況) ・開催回数 3回	(成年後見制度研修会の状況) ・開催回数 1回 ・日時 平成28年1月27日 ・場所 小牧市役所東庁舎5階大会議室 ・参加者数 87人	→	・市民や事業所を対象とした成年後見制度の研修会を開催した。また、地域包括支援センターが各圏域において権利擁護支援に関する研修会を開催した。	B	・権利擁護センターの設置に向けた検討を進める。 ・成年後見制度の促進・周知を図っていく。	・権利擁護センターの設置について、広域連携も検討し必要な近隣市町の意向を調査するとともに、合同で意見交換会等を開催する。 ・社会福祉協議会や他の団体等、運営を担う可能性のある主体との情報交換など運営拠点等、体制構築に向けた具体的な検討を行う。 ・地域包括支援センターが地域での講座等を開催するとともに、連携し成年後見制度の促進・周知を図っていく。



## 第6次小牧市高齢者保健福祉計画進捗状況調査報告

### (2)ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯への支援

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
地域福祉課	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の方が、居宅での閉じこもりや地域での孤立することがないよう、地域での見守り、支え合いが可能となる環境を醸成する。	(ひとり暮らし高齢者交流会の状況) ・開催回数 1回 ・参加者数 367名  (個別ケア会議の状況) ・開催回数 11回	(ひとり暮らし高齢者交流会の状況) ・開催回数 1回 ・参加者数 415名  (個別ケア会議の状況) ・開催回数 42回	➡	・70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象としたひとり暮らし高齢者交流会を開催した。  ・地域包括支援センターが地域ケア会議を開催し、地域での声掛け活動を実施する地区ができた。  ・地域ケア会議から地域活動へつなげる地域を増やす必要がある。	B	・引き続き、ひとり暮らし高齢者交流会や、地域ケア会議を通じて、ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の方を対象に地域での見守り体制を整備する。	・70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象としたひとり暮らし高齢者交流会を開催する。  ・地域包括支援センターが個別ケア会議を開催し、地域課題から見守り活動等を行う地域づくりを行う。

### (3)家族介護者への支援

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
地域福祉課 介護保険課	要介護者を家族だけで抱え込むことがないよう、サービスの情報発信、情報提供に努め、地域包括支援センターがこれまで以上に寄り添った支援が推進できるよう機能を強化する。	(地域包括支援センター出張相談の状況) ・開催回数 117回	(地域包括支援センター出張相談の状況) ・開催回数 142回	➡	・老人福祉センター等において出張介護相談を行ったり、地域の様々な会合に出席して地域の人と顔のみえる関係をつくることで、地域包括支援センターの相談窓口としての周知、情報収集を行った。  ・多くの方に利用してもらうため、地域包括支援センターが、高齢者の総合相談窓口であることの啓発が必要である。	B	・老人福祉センター等において出張介護相談や地域の様々な会合に出席して地域の人と顔のみえる関係をつくることで、地域包括支援センターの相談窓口としての周知、情報収集を行う。	・老人福祉センターへの出張相談や出前講座等を実施する。
地域福祉課	介護についての知識や技術を習得する講座を開催し、家族介護者の負担が軽減される体制を整える。	(ハートフルケアセミナーの状況) ・開催回数 3回(6日) ・参加者数 29人  (認知症家族支援プログラムの状況) ・開催回数 1回(6日) ・参加者数 9人  (家庭介護講座の状況) ・開催回数 1回(4日) ・参加者数 14人	(ハートフルケアセミナーの状況) ・開催回数 3回(6日) ・参加者数 25人  (認知症家族支援プログラムの状況) ・開催回数 1回(6日) ・参加者数 8人	➡	・ハートフルケアセミナー(要介護者を介護している市民を対象にした講座)、認知症家族支援プログラム(認知症の家族を介護している市民を対象とした講座)を開催した。  ・参加者が少ないため、講座の開催方法を見直す必要がある。	D	・ハートフルケアセミナーを開催し、介護者の介護知識や技術向上に努める。	・参加者が少ないため、平成28年度については、ハートフルケアセミナーを1回の開催とする。
地域福祉課	介護する家族の負担軽減のため、家族が交流し、情報交換やリフレッシュできる場の確保に努める。	(認知症家族交流会の状況) ※4地域包括支援センター合計 ・開催回数 29回 ・受講者数 161人	(認知症家族交流会の状況) ※4地域包括支援センター合計 ・開催回数 29回 ・受講者数 155人	➡	・地域包括支援センター主催で、認知症家族交流会を開催した。  ・1回当たりの参加者数が少ないため、増やすための啓発等の改善が必要である。	B	・認知症の家族の交流や情報交換ができるよう、引き続き各地域包括支援センターで認知症家族交流会を開催する。  ・地域で集まれる会を設立するための人材育成を含めた認知症サポーター養成講座ステップアップ研修を開催する。	・各地域包括支援センターで認知症家族交流会を開催する。  ・認知症サポーター養成講座のステップアップ研修を開催し地域で集まれる会の支援や立上げを行う人材の育成を行う。



## 4 高齢者向け住まいの整備 (第6次計画 P90~91)

### (1)高齢者に配慮した住まいの環境の整備の促進

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
介護保険課	一日でも長く安心して過ごせるよう、住宅改修に対する支援を実施するなど、バリアフリー化を促進する。	(高齢者住宅改修支援事業の状況) ・6件 712,724円	(高齢者住宅改修支援事業の状況) ・5件 459,810円	➡	・65歳以上の虚弱な高齢者が、居室、浴室、便所等の改修工事を行った場合に、要した経費のうち20万円を限度として、その9割を助成した。  ・対象を市民税非課税世帯の虚弱な高齢者としているため、利用対象範囲が狭いため、利用対象範囲が狭い。	B	・対象を市民税非課税世帯の虚弱な高齢者としているため、利用対象範囲が狭く、単純な件数の増加は見込まれないが、制度の周知に努める。	・「高齢者福祉ガイドブック」により周知をし、要介護認定の有無に関わらずお知らせをすとも、地域包括支援センターなど関係事業所に対して周知を行う。

## 第6次小牧市高齢者保健福祉計画進捗状況調査報告


(2) 地域のニーズに応じて適切に供給される住宅の確保

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
介護保険課	サービス付高齢者向け住宅の整備の促進を図るなど、高齢者向けの住宅の確保、把握に努めるとともに、入居者の保護を目的とした公的機関の目が行き届くような体制が確保できるよう有料老人ホームの届出促進を図る。	—	・立入検査した有料老人ホーム 2件		・平成26年度末に立入検査を行った未届有料老人ホームに対して、有料老人ホームの届出をするよう促した。	C	・今年度も県からの要請に基づき、立入検査の実施をしていく。	・平成28年6月に、県より昨年度指導した有料老人ホームの一覧の送付があった。 ・今年度も県からの要請に基づき、立入検査の実施をしていく。 ・サ高住の整備の促進方法を検討する。
複数課	空き家を高齢者の住まい、居場所へ活用できる仕組みを検討する。	—	・把握した空き家の数 26戸		・各区长より空き家についての状況報告を提出してもらった。但し、報告してもらったのは、草刈りの苦情が多かったり崩壊しそうな空き家のため、高齢者の住まい、居場所となるような建物ではない。(市民安全課)	D	・権利関係などクリアしなければいけない問題があることから実現は難しいが引き続き方法を模索していく。	・権利関係などクリアしなければいけない問題があることから実現は難しいが引き続き方法を模索していく。



## 第6次小牧市高齢者保健福祉計画進捗状況調査報告

### 5 医療との連携 (第6次計画 P92～94)

#### (1) 在宅医療・介護サービス提供体制の強化

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
地域福祉課	医療や介護が必要になっても、住み慣れた自宅での生活が継続できるよう、医師会などと連携し、在宅医療体制の整備を図る。	・在宅医療サポートセンターの設置に向け、小牧市医師会、小牧第一病院と協議を行った。 ※在宅医療サポートセンターとは在宅医療に関する相談、在宅医療に参入する医師の確保等を行うセンターです。	(訪問診療導入研修会の状況) ・開催回数 2回 ・参加者数 47人  ・平成27年6月に小牧第一病院内に在宅医療サポートセンターを設置した。		・小牧市医師会在宅医療サポートセンターを設置した。  ・医療連携のための研修や在宅医療を行う医師を増やすための研修を行った。  ・医師会の医師が積極的に研修会に参加する研修内容を検討する必要がある。	B	・在宅医療サポートセンターで訪問診療導入研修会を6回開催する。	・在宅医療サポートセンターが引き続き訪問診療を行う医師を増やすための研修会を開催する。

#### (2) 在宅医療・介護サービス提供者の連携体制の構築

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
地域福祉課	在宅医療にあたる医師だけでなく、歯科医、薬剤師、看護師などのほか、介護サービスも含めた多職種が連携して切れ目なくサービスが提供される体制の整備を支援する。	—	(在宅医療・介護連携推進協議会の状況) ・開催回数 3回		・医療・介護の関係者からなる在宅医療・介護連携推進協議会を立ち上げ、ネットワークづくりや課題の抽出について協議を行った。  ・抽出した課題を整理し、具体的な対応ができるようにする必要がある。	B	・在宅医療・介護連携推進協議会を3回開催する。	・引き続き在宅医療・介護連携推進協議会を開催し、切れ目ないサービスを提供するための課題の抽出とその対応の検討を行う。
地域福祉課	関係団体と連携を推進するため、研修や多職種合同の研修など、在宅で支援が必要な方を多職種で支えられる体制づくりを支援する。	(医師とケアマネの座談会の状況) ・開催回数 1回 ・参加者数 83人  (多職種連携事例検討会の状況) ・開催回数 3回 ・参加者数 約390人	(医師とケアマネの座談会の状況) ・開催回数 1回 ・参加者数 87人  (多職種連携事例検討会の状況) ・開催回数 2回 ・参加者数 約290人		・医師とケアマネの座談会(1回)、医療・介護連携のための事例検討会(2回)を開催した。  ・医師、歯科医師、薬剤師の参加が少ないため、参加を増やすための開催案内が必要である。	B	・医師とケアマネの座談会を1回、多職種連携事例検討会を3回開催する。	・引き続き医師とケアマネの座談会、在宅医療・介護連携研修会を開催し、多職種連携の構築を進める。

# 第6次小牧市高齢者保健福祉計画進捗状況調査報告

## (3) 在宅医療・介護の環境づくりの支援

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
地域福祉課	在宅でも安心して医療を受けることの理解を深めてもらうため、家族等を対象に情報提供をはじめとした在宅医療・介護の環境づくりへの支援を行う。	<p>(市民講演会の開催状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 3回</li> <li>・参加者数 約480人</li> </ul> <p>第1回(平成26年11月15日) テーマ「今から考えよう! 医療～医療機関との関わり方～」</p> <p>◆シンポジウム (1)超急性期医療:小牧市民病院呼吸器内科部長兼地域連携室長 (2)急性期医療:小牧第一病院内科部長兼地域医療連携担当医 (3)在宅医療:サンエイクリニック院長</p> <p>◆会場のみなさんと意見交換</p> <p>第2回(平成27年1月17日) テーマ「今から考えよう! 在宅医療と介護～自宅で暮らしていくためには～」</p> <p>◆医療と介護、いろいろな支援の受け方 相談窓口は?、介護なんてしたことがない…、自宅で医療を受けられるの? 小牧市にて医療や介護に携わる人達の寸劇により、各分野の役割をわかりやすく説明。</p> <p>◆講演「今から考えよう! 自分らしく最期まで生き抜くための準備～1,000名の看取りから学んだこと～」(講師:小牧市民病院緩和ケアセンター部長)</p> <p>◆会場のみなさんと意見交換</p> <p>第3回(平成27年3月21日) テーマ「今から考えよう! 在宅医療と看取り～住み慣れた自宅での看取り～」</p> <p>◆講演講話「小牧の在宅医療の実際と今後の展望」 (講師:サンエイクリニック院長)</p> <p>◆自宅で看取った方々からの体験談</p> <p>◆会場のみなさんと意見交換</p>	<p>(市民講演会の開催)</p> <p>平成28年2月28日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 1回</li> <li>・参加者数 約150人</li> </ul> <p>◆講話 「小牧の在宅医療の現状と新しい仕組み」 小牧市の現在の在宅医療の体制と、今年度から進められている新しい取り組みについてお伝えします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧市医師会在宅医療推進委員会担当理事</li> <li>医療法人胡蝶会サンエイクリニック院長</li> <li>・小牧市医師会在宅医療サポートセンターコンダクター</li> </ul> <p>◆男性の現役介護者による介護体験談 男性も介護者になるところがあります。私はこうやっている! など、</p> <p>(市民アンケート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者 40歳以上の市民2,000人</li> <li>・回収率 50.4%</li> </ul> <p>(市民への情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報こまき 2回</li> <li>・ケーブルテレビ 1回</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民向け講演会を開催(1回)した。</li> <li>・広報こまきやケーブルテレビで在宅医療の啓発を行った。市民向けアンケートを実施し、啓発並びに認知度調査を行った。</li> <li>・市民講演会の参加者が少ないため、講演会だけでなく多くの市民に在宅医療・介護連携について啓発する方法を検討する必要がある。</li> </ul>	B	<p>(市民講演会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 2回</li> </ul> <p>(市民アンケート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者 40歳以上市民2,000人</li> </ul> <p>(市民への情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報こまき</li> </ul> <p>(啓発)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発冊子の配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き在宅医療を知ってもらうための市民啓発を行う。</li> </ul>
地域福祉課	在宅医療についての不安や疑問等が解消され、円滑に在宅医療に移行できるよう、積極的な情報発信や相談窓口の整備を図る。	—	<p>(在宅医療サポートセンターの状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数 17件</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口を行っている小牧市医師会在宅医療サポートセンターの運営に助成し、支援を行った。</li> <li>・在宅医療サポートセンターの認知度が低いいため、啓発を行う必要がある。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療サポートセンターに助成するとともに、在宅医療サポートセンターの周知を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や開業医などからの相談窓口を行っている在宅医療サポートセンターの運営に対する助成を小牧市医師会に行うとともに、広報や啓発冊子等により情報発信を行う。</li> </ul>

# 第6次小牧市高齢者保健福祉計画進捗状況調査報告

## 基本目標Ⅲ 質が高く安定した介護保険事業運営

1 介護サービスの質的向上の促進 (第6次計画 P97～99)

(1) 個別ケアの推進

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
介護保険課	介護職員の研修や、保険者指導を通じ、個別ケアを推進する。	(介護職員(訪問系)現任者研修の状況) ・基礎コース 全4回 ・受講者数 6人 ・特別コース 全1回 ・受講者数 12人	(介護職員(通所系)現任者研修の状況) ・基礎コース 全4回 ・受講者数 21人 ・合同講義 全2回 ・受講者数 35人	→	・介護職員(訪問・通所系)向けに合同研修を開催し資質の向上を図った。	B	・検討した研修のテーマをもとに、引き続き社会福祉協議会、施設部会の意見を取り入れ研修を実施し、個別ケアを推進する。	・平成28年9月から平成29年3月にかけて施設職員向け研修を実施し、個別ケアを推進していく。
		(保険者単独の実地指導の状況) ・4事業所	(保険者単独の実地指導の状況) ・6事業所	→	・市内の地域密着型サービス事業所のうち6事業所に対して、保険者単独で実地指導を行った。あわせて、県の行う実地指導(39事業所)に随行し、確認を行った。  ・今後、権限委譲により地域密着型サービスが増加するため、実地指導への取り組み方を検討する必要がある。	B	・7事業所に対して、実地指導を行う。	・6年ごとの更新を迎える2事業所を含む7事業所に対して、実地指導を行う。

(2) 人材の確保及びサービスの質の向上

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
介護保険課	質の高いサービスが提供されるようにするため、研修などを通じて介護保険サービス事業者の資質の向上を図り、安心かつ適切なサービスが提供されるよう支援する。	(介護支援専門員向け研修(ケアマネカレッジ)の状況) ・スタンダードコース 全15回 ・受講者数 19人 ・主任ケアマネコース 全8回 ・受講者数 13人	(介護支援専門員向け研修(ケアマネカレッジ)の状況) ・スタンダードコース 全15回 ・受講者数 19人 ・主任ケアマネコース 全5回 ・受講者数 26人	→	・社会福祉協議会と連携し、介護支援専門員向けに研修を開催し、資質の向上、職員同士の連携強化を図った。  ・介護職員(通所系)向けに全4回の研修を開催し、資質の向上、職場への定着を図った。  ・介護職員(訪問・通所系)向けに合同研修を開催し資質の向上を図った。	B	・引き続き、介護支援専門員向けに研修を開催し、資質の向上、職員同士の連携強化を図る。  ・介護職員(訪問系)向けに研修を実施し、資質の向上、職場への定着を図る。	・引き続き、小牧市社会福祉協議会と連携し、介護支援専門員向けに研修を開催し、資質の向上、職員同士の連携強化を図る。  ・介護職員(訪問系)向けに全4回の研修を開催し、資質の向上、職場への定着を図る。  ・介護職員(訪問・通所系)向けに合同研修を開催し資質の向上を図る。

(3) 介護サービスに関する情報提供の充実

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
介護保険課	より多くの場所で市民が介護保険について情報を得ることができるよう工夫した広報活動を推進し、介護保険サービスに関する情報提供の充実に努める。	(介護展の開催状況) ・介護展開催回数 1回 ・参加者数 350人	(介護展の開催状況) ・介護展開催回数 1回 ・参加者数 200人	→	・平成27年6月に介護展を開催し、介護保険制度の周知を行った。  ・より身近なところで介護保険について知ることができるよう、サロン向けに市民講座を開催した。 日時:平成28年3月15日 場所:小松寺団地会館	B	・平成28年度6月に介護展を開催し、介護制度の周知を図る。  ・平成27年度に引き続きサロン向けに市民講座を開催し、より多くの方に介護保険制度について周知を図る。	・平成28年6月に介護展を開催し、介護保険制度の周知を行った。(来場者:約200名)。 日時:平成28年6月20日 参加者数 45人  ・小松寺団地にてサロン向け講座を開催し、介護サービスの内容や特徴を説明した。 日時:平成28年7月18日 参加者数 30人
		(いきいきファイル配布状況) ・配布数 約400部	(いきいきファイル配布状況) ・配布数 約400部	→	・要支援・要介護認定を受けて小牧市に転入してきた方や希望する方に、介護の状況などを記録することができる「いきいきファイル」を配布した。  ・介護保険サービスについて、広報やホームページ等を通じて市民に対しての周知・啓発に努めた。	B	・認定を持って転入した方や、希望する方以外にも、初めて認定を受ける方や介護で困っている方へ積極的に配布をしていく。  ・内容についても必要な情報が伝わりやすいように様式の変更等を検討していく。	・認定を持って転入した方や、希望する方以外にも、初めて認定を受ける方や介護で困っている方へ積極的に配布をしていく。  ・新しい総合事業の開始に備え、様式の変更等を検討していく。  ・介護保険サービスについて、広報やホームページ等を通じて市民に対しての周知・啓発に努める。

## 第6次小牧市高齢者保健福祉計画進捗状況調査報告

### (4) 介護給付等費用の適正化

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
介護保険課	給付費通知の送付やケアプランの点検等により、個々のニーズにあった効果的なサービス提供が行われるよう給付の適正化を図る。	(介護給付費通知発送状況) ・給付費通知発送数 12,997通  (ケアプラン点検状況) ・ケアプラン点検数 10事業所 54プラン	(介護給付費通知発送状況) ・給付費通知発送数 13,511通  (ケアプラン点検状況) ・ケアプラン点検数 11事業所 48プラン	➡	・要支援・要介護認定者のうち、介護保険給付実績のある被保険者に対して年4回(3、6、9、12月)給付費通知を送付した。  ・給付適正化事業として市内11事業所、16名のケアマネジャーに対してケアプラン点検を実施した。  ・市内の事業所のみを点検対象としていたため、小牧市の被保険者を担当している市外事業所に対するケアプラン点検について検討する必要がある。	B	・給付費通知を年4回送付する。  ・市内5事業所、市外1事業所の68のケアプラン点検を行う。	・要支援・要介護認定者のうち、介護保険給付実績のある被保険者に対して年4回(3、6、9、12月)給付費通知を送付する。  ・給付適正化事業として市内5事業所、21名及び市外1事業所のケアマネジャーに対してケアプラン点検を行い、給付の適正化に努める。
介護保険課	要介護認定においては、研修を通じて調査員の質の向上を図るほか、調査の事後点検を実施し、要介護認定の適正化を図る。	(研修の実施状況) ・日時 平成26年5月23日 ・場所 小牧市役所 ・参加者 現任者研修 85人 新任者研修 20人  (事後点検の実施状況) ・審査判定の対象となった全件実施。	(研修の実施状況) ・日時 平成27年5月22日 ・場所 小牧市役所 ・参加者 現任者研修 85人 新任者研修 16人  (事後点検の実施状況) ・審査判定の対象となった全件実施。	➡	・県が主催する研修への参加に加え、市においても独自に調査員研修を実施し、調査員の質の向上を図った。  ・調査の事後点検については市職員2名で点検することで、より質の高い要介護認定を行うと共に、調査員へ個別に指導も行った。	B	・今年度も市で独自に研修を実施するが、研修の内容が参加した調査員に確実に伝わるように内容や方法を工夫する。  ・調査の事後点検については、引き続き審査判定対象件数の全件について実施する。	・現任研修は習熟度別としたグループワークで実施し、各グループに市調査員を配置することで、参加者に内容が伝わるよう工夫する。  ・研修内容については、事後点検時に見かける「判断ミス」や記載内容に不備が多いものとし、3点程に絞って実施する。  ・新任者に対しては、座学だけでなく、市調査員による同行研修もこれまでと同様、実施する。  ・調査の事後点検については、これまでと同様、職員2名で全件実施する。

### 2 介護サービス提供事業者への支援 (第6次計画 P100)

#### (1) 事業者連絡会との連携強化

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
介護保険課	小牧市介護保険サービス事業者連絡会との連携強化を図り、介護保険サービス事業者同士が情報提供・共有をすることで、利用者が適切にサービスを選択できるよう支援する。	(小牧市介護保険サービス事業者連絡会会議開催状況) ・総会 1回 ・幹事会 6回	(小牧市介護保険サービス事業者連絡会会議開催状況) ・総会 1回 ・幹事会 6回	➡	・サービス事業者連絡会の幹事会を年6回行い、行政、各事業者間で情報交換・共有をすることで相互連携を図った。  ・各部会で必要に応じて定例会を行った。	B	・引き続き、サービス事業者連絡会の幹事会を行い、行政、各事業者間で情報交換・共有をすることで相互連携を図る。	・サービス事業者連絡会の幹事会を年6回行い、各部会で必要に応じて定例会を行う。

#### (2) 介護サービスに関する情報提供の充実

関係課	目標	平成26年度実績	平成27年度実績	評価	平成27年度の実施内容と課題	進捗評価	平成28年度目標	平成28年度の取り組みと実施内容(予定)
介護保険課	最新の介護保険制度情報等の提供、制度改正に際し、介護保険サービス事業者連絡会を通じて情報提供を行うほか、必要に応じて出前での講座、広報やホームページを通じた情報提供に努める。	(事業者に対する説明会の実施状況) ・実施回数 3回 ・内容:介護保険法改正について  ・ホームページに事業者向けのページを作成した。  (介護保険サービス事業所一覧の作成) ・作成部数 240部	(事業者に対する説明会の実施状況) ・実施回数 3回 ・内容:介護保険法改正について 新しい総合事業について  ・ホームページに事業者向けのページを作成した。  (介護保険サービス事業所一覧の作成) ・作成部数 230部	➡	・行政からの各通知をサービス事業者連絡会を通し会員事業所へ周知するとともに、法改正や総合事業について、説明会を行い情報提供した。  ・ホームページに事業所向けのページを作成し、遠方の事業所や説明会に参加できない事業所に対し情報提供の仕組みをつくった。	B	・介護保険サービス事業者連絡会を通じて情報提供を行うほか、必要に応じて出前での講座、広報やホームページを通じた情報提供に努める。	・小牧市社会福祉協議会やサービス事業者連絡会と相互連携を図りながら、法改正や総合事業について、説明会や通知を行うことで情報提供を行う。  ・必要に応じて出前講座、広報やホームページを通じた情報提供を行っていく。  ・介護ロボットについて、事業所として導入の可否を聞き取り、要望のある事業所に対し補助金を交付、今年度の導入を目指す。